

第14回南漣会合唱団演奏会

Male Choir NANREIKAI



南漣会合唱団

事務局所在地

〒567-0012 茨木市東太田 1-1-522

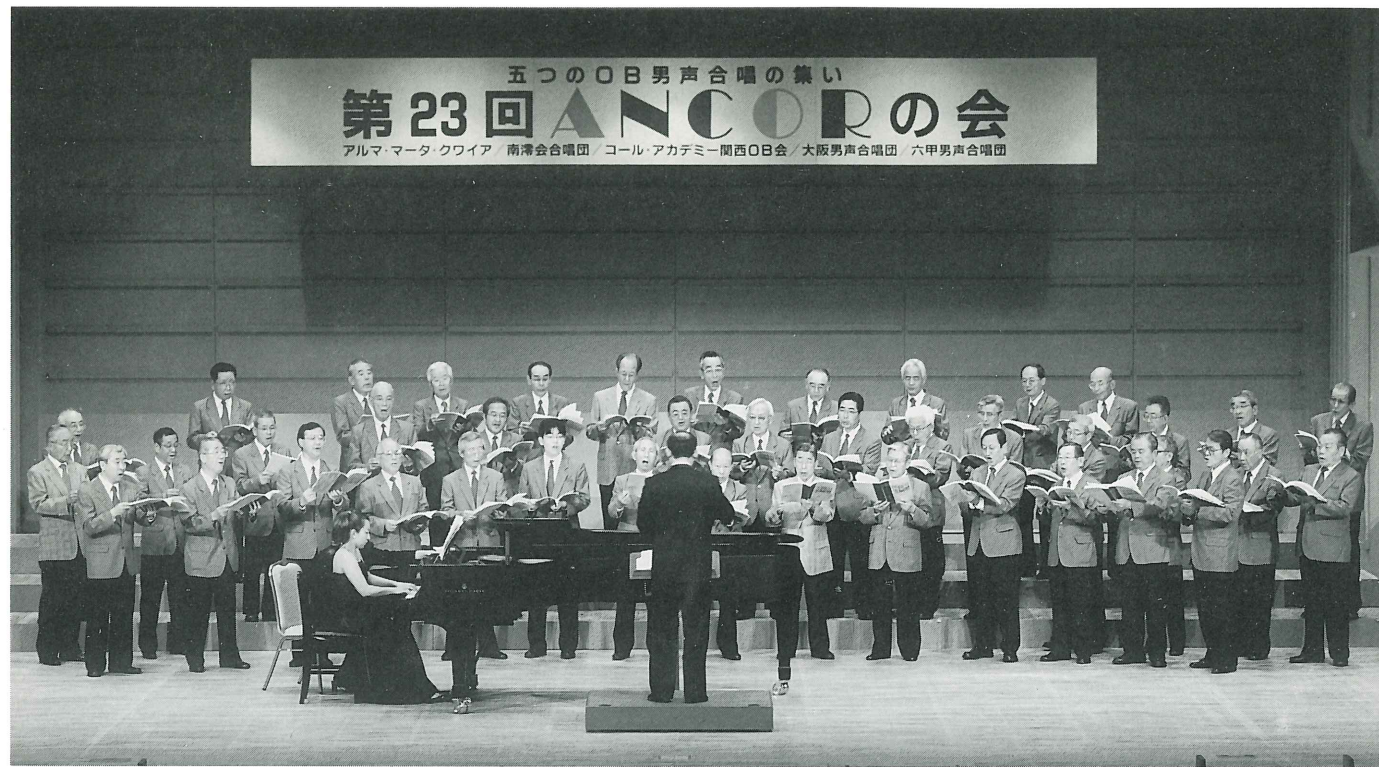
中島泰典方

TEL/FAX 072-626-9290

E-mail fantasia@moon.step.ne.jp

2003.11.30 (日) PM1:30

御堂会館 大ホール



第23回「五つのOB男声合唱の集い」 2003.5.19 於大阪国際交流センター 大ホール

ごあいさつ

本日はお忙しい中をご来聴頂きまことに有難う存じます。回を重ねて第14回演奏会をかくも盛大に開くことが出来たのは、ひとえにご指導、ご支援を賜った関係者各位並びにご来場頂いた皆様のお陰と厚く御礼申し上げます。

私どもは2001年より森啓一先生のご指導を受け、より良い合唱音楽を目指し練習を重ねて参りました。そしてその成果を本日発表申し上げる機会を得ましたことに団員一同緊張と喜びで一杯です。

第一ステージは昨年団員指揮者となりました三栖隆の演奏会初舞台となります。指揮者を引き受けたとき「是非これを」と持ってきたのがこの曲マーラーの「さすらう若人の歌」であります。そして譜読みの段階から精力的に取り組んで参りました。今年5月の「五つのOB男声合唱の集い」での演奏は森啓一の指揮で唱いましたが、本日は彼なりの解釈も加え永年温めてきたこの曲への熱い想いをしっかりと皆様にお届けしたいと存じます。

第二ステージはお馴染みの小関光男が昨年5月の「五つのOB男声合唱の集い」で注目をあつめました信長貴富の「新しい歌」に惚れ込み更に磨き上げて再演致します。

第三ステージは森啓一の指揮で教会音楽とクリスマスキャロルをお届けします。更にソリストに松尾由起子さんをお迎えいたしました。素晴らしいソプラノで本日の演奏会に花を添えて頂くことを深く感謝申し上げます。

今年も世界情勢は混沌としており各地での紛争も絶えません。そういう中で我々が合唱を続けられるのは、ひとえにご来場の皆様のご声援と団員家族の理解によるものと信じております。なお、本年7月に東京南漣会合唱団が誕生致しました。この兄弟両合唱団により一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

南漣会合唱団

団長 山縣 一晃

メッセージ

大阪市長 磯村 隆文



第14回南漣会合唱団演奏会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。大阪市立大学グリークラブOBを中心に結成された団員の皆様には、社会の第一線で活躍されている多忙な中であって、共に歌い学んだ情熱と友情に支えられた合唱活動を続けておられます。この多年にわたる活動と研鑽の成果として、本演奏会が回を重ねてここに第14回を迎えられたことは誠にご同慶に存じます。

社会情勢が急激に変化し、人々の心に真のゆとりと豊かさが求められる今日、心安らぐ素晴らしい歌声で聴衆に感動を与え、音楽を通じて交流と親睦を深めておられますことは誠に意義深く、皆様のご熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表する次第であります。

大阪市では、歴史と伝統を生かし、市民が気軽に文化や芸術に親しみ、創造できる環境づくりに取り組むとともに、芸術文化の振興とその発信に力を注いでおります。

今後とも、新しい文化や産業を創造する活力と魅力に満ちた都市の実現をめざしてまいりますので、皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本日の演奏会が大きな成功を収められますよう、また、南漣会合唱団のご発展と皆様方のご活躍を心からお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。

南漣会合唱団の紹介

1940年(昭和15年)に大阪市立商科大学(現大阪市立大学・以下市大と略す)グリークラブOBにより『南漣会』として設立。第1回演奏会をガスビルホールで開催しました。

南漣会の名称は、大学が大阪市の南にあり、それと大阪市の市章「漣標(みおつくし)」から採っております。設立後、すぐ(1941年)に大戦に突入し、その後の混乱期では合唱どころではなく、戦後は主として現役グリークラブを支援するOB組織として、合唱活動は低調ながらも、1964年(昭和39年)に第2回演奏会を日立サルーンで開催しました。その後定例のサロンの集まりなどを通じて合唱の灯をともし続けてきました。

1980年、母校創立100周年を機会に南漣会合唱団として再編。ほぼ隔年の演奏活動をするようになりました。1981年から毎年開催するようになった『五つのOB男声合唱の集い』(京都大学・大阪市立大学・東京大学・大阪大学・神戸大学の各OBを中心とする五つの男声合唱団で構成し、各団の頭文字を採った「ANCORの会」が主催)に出演。また、不定期ながら今年6月に『旧三商大OB交歓演奏会』(一橋大学・神戸大学・大阪市立大学の各OB男声合唱団による交歓演奏会)を東京都調布市で開催しました。この他、友好団体のステージへ賛助出演、老人クラブや同窓会・その他団体の会合へ有志メンバーでの出演などを積極的に行っております。

1997年には、有志団員十数名によるモナコ公国での『日本文化フェスティバル』に参加・演奏したのははじめ1999年36名のメンバーが大阪・上海友好都市締結25周年記念式典に出席、祝賀レセプションで演奏。また、上海同済大学教職員合唱団と交流演奏会を開催し好評を得ました。今後も、不定期ながら海外演奏を行ってまいります。

合唱技術向上のため、1995年から二期会バリトン歌手であり合唱指導者でもある金丸七郎氏の指導を受け、2001年からは、関西合唱連盟理事・兵庫県指揮者協会理事長など数多くの団体に活躍され、優れた指揮者である森啓一氏を迎え、合唱のクオリティを高めるべく励んでおります。

団員は市大グリークラブOBに限らず、男声合唱を愛する方ならどなたでも歓迎しております。現在、市大(商大)卒以外の方は二割近く参加・在籍されており、活躍頂いております。

I 部

1. 男声合唱とピアノのための さすらう若人の歌 作曲：G・マーラー

- I. Wenn mein Schatz Hochzeit macht／彼女の婚礼の日は
 - II. Ging heut' Morgen übers Feld／朝の野原を歩けば
 - III. Ich hab' ein glühend Messer／燃えるような短剣をもって
 - IV. Die zwei blauen Augen von meinem Schatz／彼女の青い目が
- 編曲：福永 陽一郎
指揮：三栖 隆 ピアノ：石幸 千照

2. 男声合唱とピアノのための 新しい歌 作曲：信長 貴富

指揮：小関 光男 ピアノ：石幸 千照

INTERMISSION

II 部

1. 教会音楽

- Ave Maria 作曲：F・ビーブル
- Ave Maria 作曲：R・ケッコネン
- Ave Maria 作曲：L・ヤナチェック
- De caelo veniet 作曲：J・ガルス
- O Vos Omnes 作曲：P・カザルス
- Agnus dei 作曲：G・ビゼー

2. クリスマスキャロル

- O Holy Night 作曲：A・アダン 編曲：福永 陽一郎
- Men's Chorus Christmas Medley 編曲：L・アレン
- Angels We Have Heard On High フランス古謡
- Silent Night 作曲：F・グルーバー

指揮：森 啓一 ソプラノソロ：松尾 由起子 ピアノ：石幸 千照

曲目解説

男声合唱とピアノのための さすらう若人の歌

「さすらう若人の歌」はマーラーの歌曲の中でも「亡き児をしのぶ歌」と共に広く知られて親しまれている。若きマーラーがソプラノ歌手ヨハンナ・リヒターとの失恋体験を綴った自作の詩に作曲したものである。

第一曲 彼女の婚礼の日は

愛する恋人が嫁ぐ日、裏切られた若者（マーラー）の青春の悲しみと憂鬱な気分が切々と語られている。

第二曲 朝の野原を歩けば

朝の野原を歩き、美しい自然にふれて自分の気持ちを引き立てようとする。しかし現実にかえった時再び悲しみに戻り、自分の人生への懐疑的な思いを抱くようになる。

第三曲 燃えるような短剣をもって

諦めることの出来ない恋人への思いが激情となって噴出して来る。それは死への憧れとも言える感情へと変わってゆく。

第四曲 彼女の青い目が

彼女を忘れようと、静かな夜に重々しい足取りでさすらいの旅に出る。そして一本の菩提樹の下でまどろみ、初めて安らぎを覚えて失恋の苦悩から立ち直ろうとするが……

男声合唱とピアノのための 新しい歌 作曲：信長貴富

「新しい歌」は2000年に東京六大学連盟定期演奏会の合同曲として作曲され、同年5月に初演されました。作曲者は『音にあふれた現代だが、「うた」に対してなにか渴きを覚えてしまう。「うた」を「ことば」と置き換えてもいいかも知れない。歌い合う場である「六連」の合同演奏のテーマとして「うた」を選んだのはそんな思いからである。』また、『できあがった曲集は、タイトルこそ《新しい歌》だが、技法的に斬新な試みがあるわけではない。どの曲も旋律主体の比較的シンプルなスタイルをとっている。私が今回の作曲でもとめたのはひたすら「うた」だった。合唱曲が、あるいは合唱という媒体が、「うた」としての力を真に持ちうるかということへ私なりに挑戦したつもりである』と語っています。

本日の演奏では、《新しい歌》が皆様のもとに響き渡りますよう精一杯うたいます。

教会音楽とクリスマスキャロル

カトリックの典礼儀式には「ミサ」と「聖務日課」があり、一般信徒は「ミサ」の時祈りミサ曲を歌います。また、修道者はすべての時間が聖化されるように、一日中祈り旧約聖書の詩編や聖母マリア賛歌など唱えたりうたったりします。その中から選んだ曲を歌います。クリスマスキャロルは皆様馴染みのものです。

Franz Biebl (1905～2001)：ドイツに生れミュンヘン高等音楽院で学ぶ。その後ミュンヘンの教会付き音楽家として活躍。モーツアルテウム（ザルツブルク）の合唱指導者として活躍中、軍隊に徴用され、イタリアで捕虜となり、アメリカで収容所生活を送った。その頃、収容所で合唱団を組織した。戦後、オーストリアに戻り、間もなくミュンヘン近くの教会オルガニストを務めた後、バイエルン放送局の合唱関係の仕事が続けた。アヴェ・マリアは、1964年アメリカで最初に発表されたが、30年たってようやく一般に知られるようになった。

Reijo Kekkonen (1961～)：フィンランド生れ、ヘルシンキのシベリウス音楽院でヴァイオリンと作曲を学ぶ。卒業後は音楽教育に従事する傍ら、エスポーでアマチュア合唱団の指導に当たる。その間、数多くの合唱曲を発表し、北欧・バルト合唱フェスティバルのディレクター等を務めた。フィンランド現代音楽のリーダ的存在。

Leos Janacek (1854～1928)：ブルノーの修道院（聖アウグスティン）の聖歌隊歌手としてキャリアをスタートし、プラハのオルガンスクールで学び、ブルノーの町で教師と合唱指導に従事した。モラヴィア地方の民族性に根ざした豊かな旋律を持った作品で有名。オペラ、室内楽、の作品の他合唱曲も現在よく演奏される。特に、オペラ「イエヌファ」「カーチャ・カヴァノーヴァ」や「グラゴール（スラヴ語）ミサ」が有名である。

Jacobus Gallus (1550~1591): スロヴェニア生れの作曲家。リブリアーナで幼時を過ごしたあと、ボヘミア、モラヴィア、シレジア等を巡りオーストリアのメルク修道院で活動した。作品の多くは、定旋律を用いて作曲され、典型的なベネッチュア楽派のスタイルを踏まえている。1591年プラハで没した。後の彼の作品は、ヘンデルなどによって編作されたものがある。

Pablo Casals (1876~1973): カザルスは偉大なチェリストとしてあまりにも有名である。バルセロナ音楽院を卒業し、室内楽奏者としてスタートした。しかしその優れた技術は、やがてソリストとして各地でオーケストラと協演し注目された。また、コルトー(ピアノ)・ティボー(ヴァイオリン)と組んだ三重奏団は歴史的な名団体として、後に伝えられる。フランコ独裁政権が誕生すると、敢然と対決し、彼の平和への献身的態度は世界の共感を集めた。演奏家としての活動の傍ら、いくつかの音楽や器楽の作品が残っている。

George Bizet (1838~1875): 声楽教師であった父から音楽の手ほどきを受け、9歳で早くもパリ音楽院に入学、早熟ぶりを示した。19歳でローマ賞を受ける。「カルメン」「美しきパースの娘」「真珠とり」など、フランス・オペラの代表的作品を残している。Agnus Dei は「アルルの女」組曲の間奏曲のテーマに歌詞をつけたものである。

Adolphe C. Adam (1803~1856): フランスの作曲家、バレエ音楽「ジゼル」を作曲した。14歳の若さでパリ音楽院に入り、ボワルデュールに旋律作曲の才能を見出され、彼によって作曲技法を深めていった。オペラなどの作品もあるが、O Holy Night のフランス語原名 Minuit, Chretiens (聖らに星すむ今宵) は、独唱曲の小品として知られている。

プロフィール

指揮者 森 啓一



1937年生れ、大阪学芸大学(現大阪教育大学)特設音楽課程卒業。同専攻科修了。作曲理論および指揮法を山縣茂太郎、クラウス・プリングスハイム、ニコラ・ルッチ、フーベルト・フランクレの各氏に師事。NHK大阪管弦楽団、同放送合唱団を指揮してラジオ出演。住友生命合唱団、グリーンエコー、福知山フロイデ、南漣会合唱団などを指揮。甲南女子中高等学校で教鞭をとる傍ら、同コーラス部を指導。1979年から甲南女子高校コーラス部を率いてヨーロッパ合唱フェスティバル(ヨーロッパカンタータ)に連続参加。2003年には、スイスのヌーシャテル合唱コンクールで好演し、高い評価を得た。女声合唱団セシリアの常任指揮者として創立以来一貫して指導にあたり、コールシャンテに度々客演。

現在、甲南女子学園および京都女子大学非常勤講師、兵庫県合唱連盟副理事長、関西合唱連盟理事、兵庫県合唱指揮者協会理事長、世界合唱連盟会員、ヨーロッパカンタータ会員、国際コダーイ協会会員。

ソプラノ歌手 松尾 由起子



大阪教育大学特別音楽課程声楽専攻科卒業。同大学院修了。アゼリア推薦新人演奏会、モーツァルト「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベートーヴェン「交響曲第9番「合唱」、ヘンデル「メサイア」のソリストとして出演。

現在、甲南女子中高等学校教諭。

ピアニスト 石幸 千照



大阪芸術大学を学費全額免除生として卒業。同大学専攻科修了。卒業演奏会、関西新人演奏会に出演。1999年ウィーン秋季特別コースにて、A. イエンナー氏に師事。2001年マタイザー・ゾンマーア카데미に参加、G. ルードヴィヒ氏に師事。岡坂恭子、ワード・シュニーベルガーの各氏に師事。現在、大阪芸術大学伴奏要員。

南漣会合唱団 メンバー

First Tenor

石田 等
尾崎 納
斎藤 三朗
新 栄一郎
樽本 信義
中島 圭意
福家 伸治
南本 豊樹
原田 佳晃 (東京南漣会)

Second Tenor

今西 弘一
猪口 英郎 (現役)
大田 徳隆
川口 浩
久野 利夫
戸田 勝
服部 栄治
藤田 徹夫
古川 多夢
丸尾 嘉重
村山 徹郎

Baritone

石井 欽三
石川 健夫
上田 稔
黒岩 勝彦
田中 利治
谷岡 昇
中川 静雄
西田 博光
廣岡 孝一
細谷 清澄
松田桂一郎
山内 荘作
米田 直也

Bass

上木 喜昌
桂 貞夫
栗山 功
小関 光男
下伊豆哲央
寺前 芳博
友澤 一雄
中島 泰典
三栖 隆
宮田 潤
村上 勇
森田 清
山縣 一晃
和田 昭夫

南漣会合唱団 運営・技術スタッフ

団長
幹事長
運営幹事
総務

山縣 一晃
宮田 潤

総括指導・指揮者

森 啓一

渉外(ANCOR)

斎藤 三朗
大田 徳隆
黒岩 勝彦
中島 泰典
和田 昭夫
上木 喜昌
中川 静雄
藤田 徹夫

技術幹事
指揮者

小関 光男
三栖 隆

会計
会計監査
相談役

白石 公子

パートリーダー
T1
T2
B1
B2

インスペクター
ピアノ

石田 等
今西 弘一
石川 健夫
村上 勇
谷岡 昇
石幸 千照

男声合唱を一緒に楽しみましょう

南漣会合唱団は団員を募集しています

一度見学にいっしょにしませんか

南漣会合唱団の今までのレパートリー

邦人作曲家の作品・日本歌曲・Nigro Spiritual・Sea Shanty・ロシア聖歌
日本・イギリス・アイルランド・ロシアなどの民謡・フォスター歌曲
ブラームス・シューマン・北欧などの男声合唱曲・他多数

練習日：毎週土曜日 18:00~21:00

練習場所：大阪フィルハーモニー会館
(通称 大フィル会館)

会費：3,000円/月

地下鉄四つ橋線 岸里下車 松虫通 東へ3分

地下鉄堺筋線 or 南海電車 天下茶屋下車 松虫通西へすぐ

お問い合わせ 宮田 TEL 072-652-3533 中島 TEL & FAX 072-626-9290 Email-fantasia@moon.step.ne.jp